

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 柔道整復スポーツ学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|------------|-------------|--|---|-----------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 職業倫理 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年生 | | 学期及び曜時間 | 前期 木曜日4限 | 教室名 | 2校舎301 |
| 担 当 教 員 | 岩村 一成 | 実務経験とその関連資格 | 平成16年より接骨院勤務。平成19年に柔道整復師専科教員免許取得。 平成24年より大阪ハイテクノロジー専門学校で勤務。 柔道整復師・柔道整復師専科教員・講道館柔道五段・認定実技審査員(整復・柔道) | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| グループディスカッションなどアクティブラーニングを中心に、倫理的に考える力と他者理解する方法を身に付ける。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 期末試験評価:100% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修) 【参考資料】 医療コンフリクト・マネジメント-メディエーションの理論と技法- | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 関連資料・参考資料を事前に確認すると同時に、医療業界における問題点を把握することも必要です。医療に関するニュースや社会情勢の確認を行なって下さい。また、講義ごとに配布される資料について、講義のみの理解が難しい場合は自主的にパソコンルーム等を使用して調べてください。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 最善の医療を提供するためには、患者さんと医療機関の十分な信頼関係が必要です。そのためには患者さんを始めとした他者を理解することが重要です。柔道整復師として必要になる、医療従事者の職業倫理というものは決して難しいものではありません。常に新しい医学知識の習得に励み、職業の責任を自覚して人格を高め、お互いに尊敬し合い法を守り、社会の発展に尽くすことができるように頑張りましょう。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療倫理に重要性を理解できる。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 医療に関するニュースや社会情勢の確認を行なって下さい。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 医療倫理の考え方 | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 他者理解の重要性を知り、他者の意見を聞くことができる。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 他者の意見を聞くことの重要性を知る | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 他者理解の重要性を知り、他者の意見を聞くことができる。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 他者理解の重要性～傾聴力を培うために～ | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 他者の意見を聞くことができ、思考の多様性を理解する。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 他者理解の重要性2～創造性を培うために～ | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 倫理的意識決定モデルを理解できている。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 安楽死と尊厳死, 倫理的意識決定モデル | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|------|-------------|------------------------|---|----------------------|
| 第6回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 柔道整復師としての倫理観を理解できている。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること |
| | | 各コマにおける授業予定 | 柔道整復師としての倫理観※倫理綱領 | | |
| 第7回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | インフォームドコンセントを理解できている。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること |
| | | 各コマにおける授業予定 | 患者の自己決定権とインフォームド・コンセント | | |
| 第8回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 生殖と出生を理解できている。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること |
| | | 各コマにおける授業予定 | 生殖と出生 | | |
| 第9回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 生命操作を理解できている。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること |
| | | 各コマにおける授業予定 | 生命操作 | | |
| 第10回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 遺伝子操作を理解できている。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること |
| | | 各コマにおける授業予定 | 遺伝子操作 | | |
| 第11回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療と金融の関連性について理解する。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること |
| | | 各コマにおける授業予定 | 医療と金融について | | |
| 第12回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 再生医療を理解できている。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること |
| | | 各コマにおける授業予定 | 再生医療 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 精密医療を理解できている。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること |
| | | 各コマにおける授業予定 | 最新医療・精密医療 | | |
| 第14回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 患者の権利と義務を理解できている。 | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 講義の復習と次回講義の予習を必ずすること |
| | | 各コマにおける授業予定 | 患者の権利と義務 | | |
| 第15回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 医療職として適切な倫理観をもてるようになる | 社会保障制度と柔道整復師の職業倫理(全国柔道整復学校協会監修), パソコン, 配布資料(プリント)など | 全講義の総復習を必ずすること |
| | | 各コマにおける授業予定 | 柔道整復師としての職業倫理と社会保障 | | |